

7 栽培の申し込み

- ◆ 栽培を希望する生産者は、JAまたは主集荷商業協同組合の集荷業者に申請書を提出してください。
- ◆ 募集時期 令和7年1月24日まで
- ◆ 提出書類 栽培申込書（別紙様式1）
※ 申込書は集荷業者の窓口にて記入してください。
- ◆ 生産者および面積の決定 令和7年2月中旬
- ◆ 種子の販売 令和7年2月中旬～下旬
※1 種子は4kgネット袋入りです。
※2 申込が種子供給量を超えた場合は、面積の調整をさせていただきます。

(別紙様式1) 令和6年度「きらみずき」栽培申込書

令和 年 月 日

近江米穀協会 様
(販売業者様)

申請書
住所
電話番号

申込者氏名(販売業者名)

令和6年度において、「きらみずき」を栽培したいので、令和6年度「きらみずき」生産者登録申込書第4に記述する、契約事項のすべてを承諾の上、上記のとおり申し込みます。

記

1. 「きらみずき」の栽培予定は面積および播種面積

区分	面積(㎡)	播種面積(㎡)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

合計

2. 出荷・販売予定先

出荷・販売予定先	出荷・販売予定数量(kg)	備 考

合 計

注1) 出荷・販売予定数量は主集荷とする。
注2) 「オーガニック」の標章、慣行農薬にその旨を記入。

○契約事項
1. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
2. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
3. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
4. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
5. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
6. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
7. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
8. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
9. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。
10. 栽培申込書に記述した事項を厳格に遵守する。また、チェック欄に必要事項を記入すること。

収量、玄米外観品質および高温登熟性に優れる

水稻新品種「きらみずき」の生産者を募集します



8 販売・P R 方法

- ◆ 生産者や集荷業者等の販売段階において、「きらみずき」の付加価値をしっかりと消費者等にPRすることに努め、「コシヒカリ」を超える価値あるお米を目指します。



PRに役立つ情報については二次元コードからご確認ください。

9 ロゴデザインの利用

- ◆ 「きらみずき」の販売に際しては、市場でのPRを図るため、共通のPR資材（デザイン等）を積極的に使用してください。
- ◆ 専用のロゴデザインの利用する場合は、「環境こだわり米ロゴデザイン等使用要領」に基づき承認が必要です。



ロゴデザインの使用に関する詳細については二次元コードからご確認ください。



問い合わせ先

- ◆ 申込書は最寄りのJAまたは集荷商業組合に、指定された期日までに提出ください。

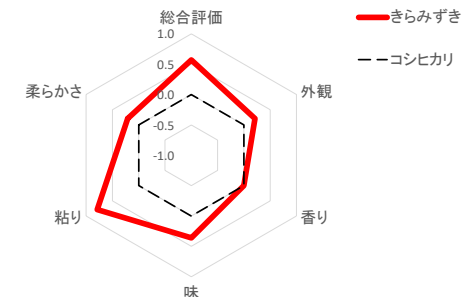
1 「きらみずき」の特徴は

- ◆ 「にこまる」を母、「滋賀69号」を父として滋賀県農業技術振興センターで、13年の歳月をかけて開発されました。
- ◆ 成熟期は、「日本晴」より2日遅く、「秋の詩」より4日早い、中生の晩熟期です。
- ◆ 収量性や玄米外観品質、耐倒伏性、高温登熟性に優れ、台風や高温条件下で安定した生産が可能です。
- ◆ 食味は「コシヒカリ」と同等以上のおいしさ。



高温登熟であっても、白未熟粒が少なく玄米外観品質が優れる！

大粒でしっかりとした食感、すっきりとした瑞々しい甘さが強みで、噛むほどに甘さが広がります。食味官能検査では、「コシヒカリ」と同等以上の評価を得ています。



「きらみずき」の食味官能評価
滋賀県農業技術振興センター調べ(2020)
注) 供試材料はいずれも滋賀県産



草丈は短く、耐倒伏性に優れる！

2 コンセプト

こだわる人が選ぶ「おいしさ」と「やさしさ」

【生産】高度な技術を持って、オーガニックをはじめ、化学合成農薬や化学肥料を可能な限り削減した栽培に限定

【消費】“おいしさ”とともに、温暖化防止・生物多様性の保全など一歩進んだ取組の価値に共感し「きらみずき」を支持、購入

- ◆ 滋賀県では、琵琶湖の保全に留まらず、温暖化防止や生物多様性の保全など本県環境こだわり農業をより深化させるため、「きらみずき」を持続可能な農業のシンボルとして位置づけます。
- ◆ 「きらみずき」はオーガニックをはじめ、化学肥料（窒素成分）や殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）を使用しない栽培に限定します。
- ◆ 「おいしさ」とともに、生産者の環境保全に対する一歩進んだ取組の価値を消費者や販売店等が共感し、「きらみずき」を支持、購入する品種として育てます。

3 栽培方法

①または②の条件で栽培し、「滋賀県環境こだわり農産物」の認証を受けたもの

①「化学肥料（窒素成分）や殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）を使用しない栽培」

＜肥料＞本田において無化学肥料で栽培

ア) 有機質肥料の利用、大豆・野菜跡等の活用、たい肥・緑肥等の活用等

＜農薬＞原則、殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）を使用しない栽培

ア) 除草剤は使用可能

イ) 過去に病害虫が多発した地域(ほ場)を避け、予防的防除(箱施用剤等)を削減

ウ) 畦畔草刈り＋色彩選別機の活用で、カメムシ防除の削減

②「オーガニック栽培」（有機JAS認証を受けたもの）

4 生産者の要件および誓約事項

- ◆ 申込のあった種子量の合計が、種子供給量を超えた場合、近江米振興協会が行う生産者および栽培面積の調整に応じること。
- ◆ 化学肥料や殺虫・殺菌剤を使用した場合は、その旨を集荷業者へ報告するとともに、「きらみずき」として消費者等へは販売しないこと。
- ◆ 病害虫の常発地域（ほ場）を避けることでリスク回避を図り、かつ、地域の共同防除体制等との棲み分けや合意形成を行うこと。
- ◆ 品種名のほ場看板を設置し、生産のPRを行うこと。
- ◆ 全量種子更新し、自家採種は行わないこと。
- ◆ 種子を第三者に譲渡しないこと。
- ◆ 出荷にあたっては、1.85mm以上の網目で調製すること。
- ◆ 出荷にあたっては、農産物検査を受検すること。
- ◆ 近江米振興協会等が主催する研修会や情報交換等に参加すること。



5 令和6年産の状況

（令和6年11月1日時点）

◆ 平均収量：435kg/10a ※甲賀、東近江および湖東管内における生産者126名の平均（230kg/10a～600kg/10a）

◆ 1等比率：90.3%（令和6年9月30日現在）

➡ 高地力帯では収量を確保できましたが、全体的に収量は低くなりました。

◆ 収量が低かった地点の原因は？

・生育中の栄養状態が悪化（葉色が低下）し、その後の追肥で十分に回復できず、有効茎歩合の低下や登熟不良となった。

・穂もち発生懸念などの理由から、穂肥を減肥または無施用とした結果、出穂後の登熟期間の栄養状態が悪く、登熟不良となった。

・縞葉枯病、ごま葉枯病等の病害が発生し、収量減少を助長した。

6 令和7年産の栽培方法について

（令和6年11月1日時点）

◆ 土づくり

・砂地のほ場を避けて地力の高いほ場を選定することや、堆肥の施用や深耕等の土づくりを継続して進めましょう。

・有機物分解による還元障害や縞葉枯病対策のため、早期に耕うんをしましょう。

◆ 施肥

・生育期間を通して葉色が低下しないように生育後半まで葉色の維持管理を行い、減肥せず基準量を施用しましょう。



最新の地力実態については二次元コードからご確認ください。

【参考】令和6年産「きらみずき」の施肥基準 ※令和7年産については現在、見直し作業中。

施肥法	地帯区分	基肥	追肥	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	合計
全層	湖辺粘質 (高地力水田)	2kg	2kg	3kg	3kg	10kg
	湖辺砂質、平坦、中山間	3kg	2kg	3kg	3kg	11kg
側条	湖辺粘質 (高地力水田)	3kg	(1kg)	3kg	3kg	9(10)kg
	湖辺砂質、平坦、中山間	4kg	(1kg)	3kg	3kg	10(11)kg
大豆跡			0～3kg	3kg	3kg	6～9kg

※ 大豆跡は、地力が低い場合や、大豆の収量が思わしくなかった場合は、施肥量を増量する等調節する。

◆ 移植

・移植適期：5月10～20日 ・栽植密度：50～60株/坪

◆ 病害虫対策

・いもち病：温湯消毒、余剰苗の除去、畦畔除草により風通しの良い環境をつくる。

：有機農産物の日本農林規格「表B. 1」において使用可能な農薬を活用する。

・ごま葉枯病：生育後半の栄養凋落が起こると発生が助長されるので、登熟後期まで栄養が維持されるように管理する。